

携帯型簡易無線電話装置

**VX-581VCAT
VX-581UCAT**

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線電話装置は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8



0409i-BK

お客様へ

- **お願い**
- ◎ 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています。
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- **アフターサービス**
- ◎ 正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました特約店またはお近くの営業所/サービスセンター宛にお問い合わせください。

防水(JIS保護等級7種防浸形相当)について

本機は、水深1mの水没に30分間耐えることができます(完全防水ではありませんので、水中での使用はできません)。この防水を未永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎ キーやボタンのラバー、MC/SP端子のキャップなど、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- **オーバーホールのお奨め**
- ◎ お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、落下や衝撃が加わった場合、またはキズ劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めます。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

構成品

- ◎ 本体 1
- ◎ 空中線 (アンテナ) 1
- ◎ ベルトクリップ 1
- ◎ 取扱説明書 (本書) 1
- ◎ 保証書 1

オプション 詳細はカタログをご覧ください

- ◎ 標準リチウムイオン電池パック : FNB-V86LI
- ◎ 大容量リチウムイオン電池パック : FNB-V87LI
- ◎ 急速充電器 : VAC-581
- ◎ 外部スピーカーマイク : MH-65A7A

安全上のご注意 必ずお読みください

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

- ⚠ **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- ⚠ **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- ⊘ 行ってはならない禁止事項です(例 ⊘ 分解禁止)。
- ❗ 必ず守っていただきたい注意事項です。

- ⚠ **危険**
- ⊘ **自動車を運転しながら使用しない**
事故の原因になります。
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。
- ⊘ **航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る**
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
- ⊘ **引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない**
発火事故や落下事故などの原因になります。
- ⊘ **電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険**
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者診断を受けてください。
- ⊘ **電源端子をはんだ付けやショートをしない**
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運ばないでください。
- ⊘ **リチウムイオン電池パックを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

- ⚠ **警告**
- ⊘ **分解や改造をしない**
本機は電波法に基づく無線局です。
勝手な分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

- ⊘ **本機は、“JIS保護等級7種防浸形相当”の防浸構造になっておりますが、特に海水などが付いたときは水で洗い流し、乾いた布などで拭きとる**
性能や寿命を低下させる原因になります。

- ❗ **当社指定以外の充電器を使用しない**
火災や故障の原因になります。
- ❗ **煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオン電池パックを外す**
火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました特約店またはお近くの営業所/サービスセンターに修理をご依頼ください。

- ⚠ **注意**
- ⊘ **指定以外のオプションを使用しない**
ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。

- ⊘ **アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしない**
本人や他人に当たり、ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。
- ⊘ **アンテナを折り曲げたりしない**
アンテナの変形や破損の原因になります。
- ⊘ **強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない**
故障の原因になります。
- ⊘ **リチウムイオン電池パックを、指定の充電器で充電するときの温度範囲は5℃～35℃です**
故障の原因になります。

- ❗ **磁気カードなどを無線電話装置に近づけない**
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。
- ❗ **人の多い場所では使用しない**
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。
- ❗ **無線電話装置を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない**
変形や変色等の原因になります。
- ❗ **シンナーやベンジンなどでケースを拭かない**
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れた場合には、中性洗剤を湿した布で軽く拭いて汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。
- ❗ **小さなお子さまの手の届かない場所に保管する**
ケガなどの原因になります。

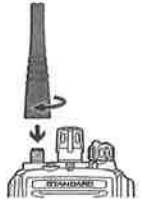
各部のなまえと機能

緊急ボタン

緊急時に押します(1秒以上)。
緊急信号を止めるときは、一旦電源を切り再度入れ直してください。
※:動作は初期設定により異なります。

アンテナコネクター

アンテナのコネクターに近い太い部分を持って、時計方向に回しながら取り付けます。



PTT (通話) ボタン

通話するときボタンを押します。

モニターボタン

相手の声が途切れて聞こえるときは、ボタンを押し続けてください。

照明ランプボタン

一度押すと、5秒間点灯します(押し続けても5秒間点灯)。

ディスプレイ (照明ランプ付き)

チャンネルやメッセージを表示します。
モードキーやチャンネルキーを押すと、照明ランプが約5秒間点灯します。

モードキー

表示内容を変えます。

チャンネルスイッチ

◎ VX-581VCAT の通話チャンネルは、9チャンネル選択することができます。
◎ VX-581UCAT の通話チャンネルは、16チャンネル選択することができます。

電源スイッチ / 音量調節つまみ

インジケータランプ

受信/話中時: 緑色に点滅
送信時: 赤色に点灯
電池消耗時: 赤色に点滅

スピーカー

MIC/SP ジャック

オプションのスピーカーマイクを接続する端子です。

● スピーカーマイクを取り付けるときはマイクに付属されているビスで取り付けてください。

マイクロホン

チャンネルキー (右記の設定により使用可能)

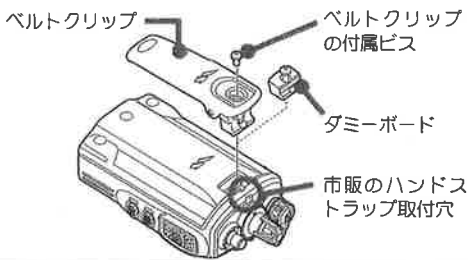
◎ VX-581VCAT の通話チャンネルは、9チャンネル選択することができます。
◎ VX-581UCAT の通話チャンネルは、35チャンネル選択することができます。

電池パックロックレバー (背面)

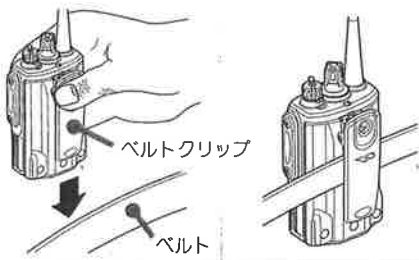
リチウムイオン電池パックや乾電池用ケース(オプション)を取り付けてロックするレバーです。

ベルトクリップの使いかた

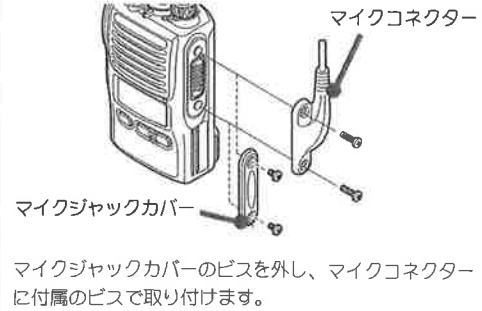
ダミーボードを外し、ベルトクリップの付属ビスでベルトクリップを取り付けます。



ベルトクリップの先端を指で押し、ベルトへ確実に取り付けてください。



スピーカーマイク MH-65A7A の取付



通話のしかた

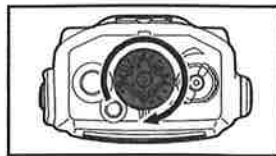
- ① **電源スイッチ**を右に回すと、電源が入ります。
ディスプレイに「STANDARD」が表示され「ピポッ」と電子音が鳴り、現在のチャンネルをディスプレイに表示します。



- ② **モニターボタン**を押しながら、**音量調節つまみ**で音量を調節します。
聞きやすい音量にします。



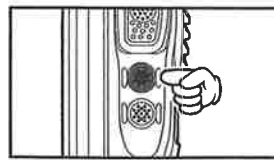
- ③ **チャンネルスイッチ**を回して相手と同じチャンネルに合わせます。
○ VX-581VCAT の通話チャンネルは、9チャンネル選択することができます。
チャンネルスイッチで通話チャンネル以外のチャンネル(10～16チャンネル)を選択すると「ピロロッ・・・」とエラー音がなり警告します。



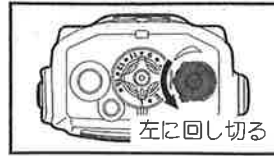
- ④ **PTT (通話) ボタン**を押しながらマイクロホンに向かって話します。
インジケータランプが赤色に点灯します。
マイクロホンと口元の間隔は、5cm位が適当で、ふつうの声で話します。
● 速やかに通話してください。



- ⑤ **PTT (通話) ボタン**を離すと、相手の話を聞くことができます。
相手の声が途切れて聞こえるときは、**モニターボタン**を押し続けてください。



- ⑥ **閉局するとき**は**電源スイッチ**を左に回し切ると、電源が切れます。「カチッ」と音がするまで回し切ります。



電池の消耗について

電池が消耗すると、インジケータランプが赤色に点滅します。
直ちに充電を行ってください。

電池持続時間は

リチウムイオン電池(標準) 約8.5時間 (FNB-V86LI)

大容量リチウムイオン電池 約16時間 (FNB-V87LI)

* 電池持続時間は「送信5:受信5:待ち受け90」の測定条件になります。
周囲の温度により使用できる時間が異なることがあります(特に寒冷地では使用時間が短くなります)。

チャンネルスイッチまたはチャンネルキーでチャンネルを選択する

チャンネルキーのみ、またはチャンネルスイッチとチャンネルキーを両方利用してチャンネルの選択ができます。

- ① **MODE** を押しながら電源を入れます (ディスプレイに“SET MODE”が表示後“BEEP ON”が点灯します)。



- ② **CH TOP** を押しします (ディスプレイに“CH TOP”が点灯します)。



- ③ **CH TOP** を押しします (ディスプレイの“CH TOP”が点滅します)。



- ④ **CH TOP** または **CH BOTH** で希望するチャンネルの選択方法を設定します (ディスプレイに選択した表示が点滅します)。



「チャンネルの選択方法は右上表を参照」

表示	チャンネルスイッチ	チャンネルキー (◀ ▶)
CH TOP <small>工場出荷時の設定</small>	UCAT: 1 ~ 16 チャンネル VCAT: 1 ~ 9 チャンネル	使用できません
CH FRNT	使用できません	UCAT: 1 ~ 35 チャンネル VCAT: 1 ~ 9 チャンネル
CH BOTH	UCAT: 1 ~ 15 チャンネル + メモリーチャンネル VCAT: 1 ~ 9 チャンネル + メモリーチャンネル	UCAT: 1 ~ 35 チャンネル VCAT: 1 ~ 9 チャンネル

- ⑤ **MODE** を押しします (ディスプレイに選択した表示が点灯します)。



- ⑥ 一度電源を切り再度電源を入ると設定が完了します。

- **CH TOP**, **CH BOTH** を使用する設定にした場合は、**MODE** を押すとチャンネルがアップし、**CH FRNT** を押すとチャンネルがダウンします。
- **チャンネルスイッチ** でチャンネルを合わせてあっても、**MODE**, **CH TOP** でチャンネルを変更した場合は、**MODE**, **CH TOP** でセットしたチャンネルが優先されます。
- よく使用する1波の通話チャンネルを、専用のメモリーチャンネルに登録しておくことができます。登録方法は「よく使用するチャンネルをメモリーする」を参照してください。

チャンネルキーをロックする

“CH FRNT” “CH BOTH” に有効

誤ってチャンネルキーに触れても、チャンネルが変わらないようにすることができます。

- ① **電源スイッチ** を左に回し、電源を切ります。



- ② **PTTボタン** を押しながら**電源スイッチ** を右に回すと、電源が入り同時にロックされます。ディスプレイに約1秒間“LOCK ON”が表示されます。



- ロック中にチャンネルキーを押すと、ディスプレイに1秒間“-LOCK-”が表示され、ロック中であることを知らせます。

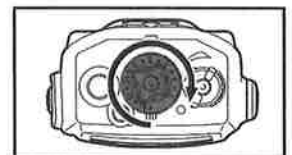
ロックを解除するには、
上記の操作と同様に手順①から手順②の操作を行います。
ディスプレイに約1秒間“LOCK OFF”が表示されます。

よく使用するチャンネルをメモリーする

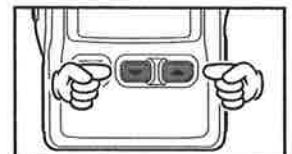
“CH BOTH” に有効

よく使用する1波の通話チャンネルを専用のメモリーチャンネルに登録しておくことができます。電源を切っても登録したチャンネルは消えません。通話するときにチャンネルキーやチャンネルスイッチで設定する必要がなくなり、大変便利な機能です。

- ① **チャンネルスイッチ** を16チャンネルの位置に合わせてみます。ディスプレイに約1秒間“MEMORY”が表示されます。



- ② **MODE** または **CH TOP** を押して通話チャンネルを設定します。



- ③ **PTTスイッチ** を短押しして確定します。



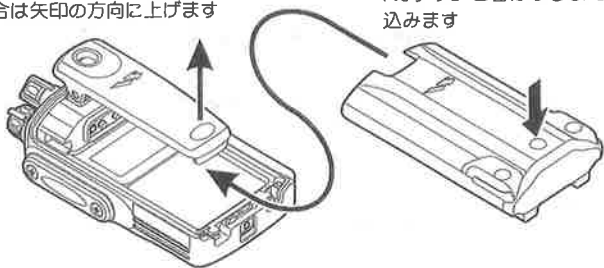
- ④ 通話するときは16チャンネルの位置に合わせておきます。他のチャンネルを登録したい場合は、手順①から手順③の操作を繰り返すことにより、何度でも違うチャンネルを登録することができます。

リチウムイオン電池パックの取付 / 取外

リチウムイオン電池パックを取り付ける

① ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます

② リチウムイオン電池パックの背面を押しながらスライドし、「カチッ」と音がするまで差し込みます



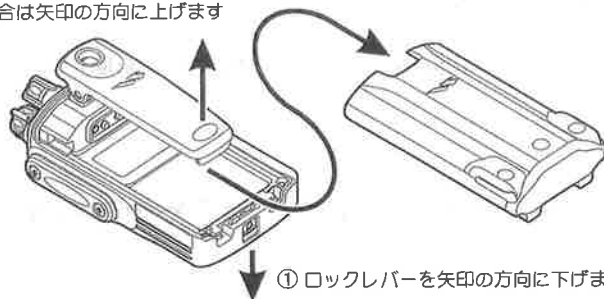
▶ 「カチッ」と音がするまで、電池パックの背面を押しながらスライドし確実に取り付けてください。

確実に取り付けていないと落下事故や故障の原因になります。

リチウムイオン電池パックを取り外す

② ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます

③ リチウムイオン電池パックを抜き取ります



① ロックレバーを矢印の方向に下げます

リチウムイオン電池パックの充電方法

充電時間： FNB-V86L 約3時間
FNB-V87L 約4時間

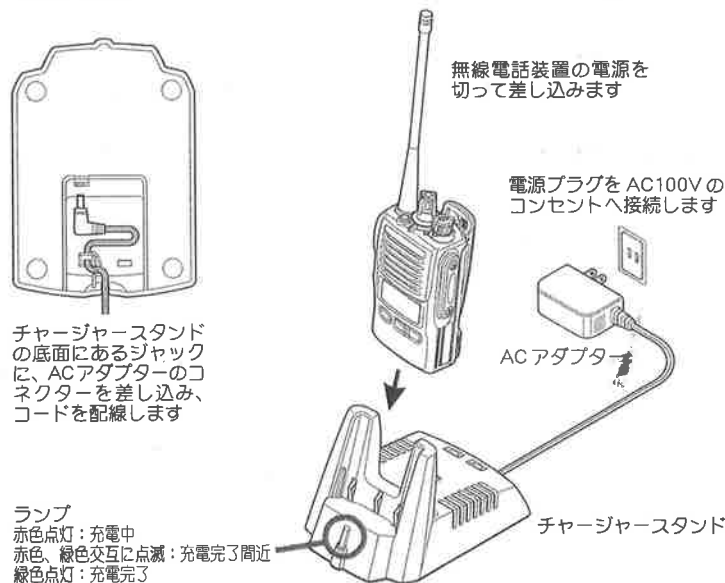
オプションの急速充電器 VAC-581 を接続してリチウムイオン電池パックを充電します(下図参照)。

○ リチウムイオン電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

チャージャースタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了に近づくと赤色と緑色が交互に点滅します。充電が完了するとランプは緑色に点灯します。

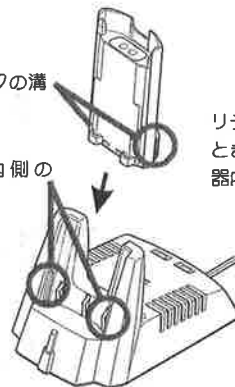
○ 充電終了後、ACアダプターをコンセントから外してください。

● 長時間充電したままにしておくと、リチウムイオン電池パックを劣化させることがあります。



電池パックの溝

充電器内側のレール



リチウムイオン電池パックを単体で充電するときは、リチウムイオン電池パックの溝を充電器内側のレールに合わせて差し込みます

定格

差受信周波数： VX-581VCAT 150MHz帯 (9波)
VX-581UCAT 400MHz帯 (35波)

電波型式： F3E (FM)

通信方式： 単信(プレストーク)方式

差信出力： 5W+20%、-50%以内

自動識別装置： 副搬送波 MSK方式 2400bps

受信感度： VX-581VCAT -5dBμ以下 (20dB 雑音抑圧感度)
VX-581UCAT -8dBμ以下 (12dB SINAD)

受信方式： ダブルスーパーヘテロダイン

氏周波出力： 0.7W以上 (10%歪時)

歩次に発する電波等の強度： 4nW以下

定格電圧： DC 7.4V

本体寸法： 56mm × 97mm × 34mm (FNB-V86L 使用時)
(幅 × 高さ × 奥行き：突起部を含まず)

本体重量： 約 270g (FNB-V86L、ベルトクリップ、アンテナを含む)

故障かな? と思うまえに...

間違った操作をしていませんか?
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない!

- ・ リチウムイオン電池パックが消耗していませんか?
→ リチウムイオン電池パックを充電してください。
- ・ リチウムイオン電池パックの端子が接触不良になっていませんか?
→ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池パックが古くなっていませんか?
→ リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

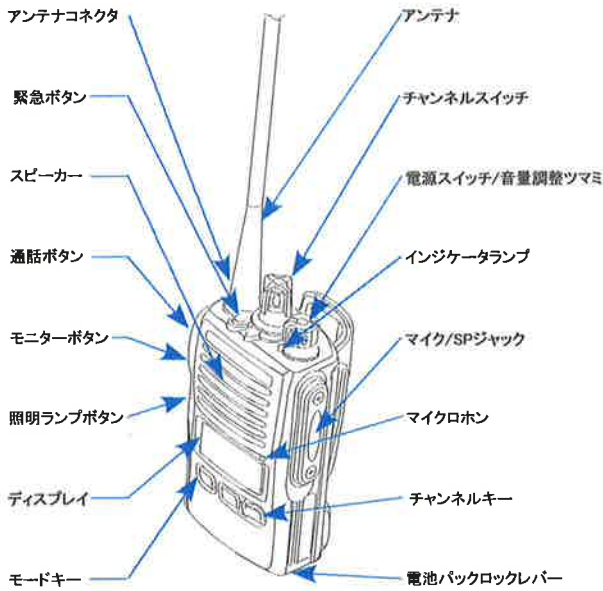
◎ 送信できない!

- ・ PTT(通話) ボタンを正しく押していますか?
- ・ 電源は入っていますか?

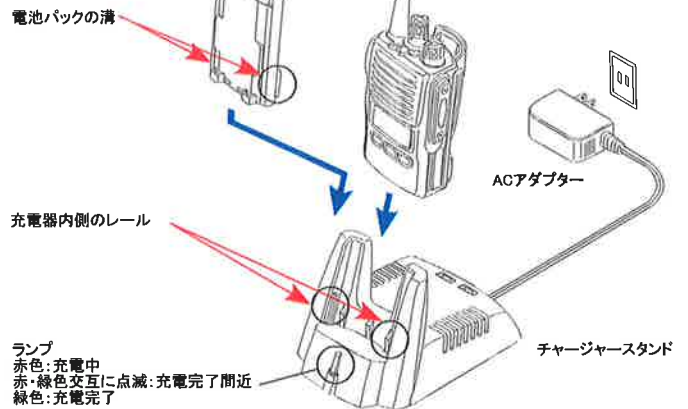
◎ 通話できない!

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか?
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか?

デジタル簡易無線VX-581VCAT/UCAT取扱い方法



リチウムイオン電池パックを単体で充電するときは、リチウムイオン電池パックの溝を充電充電器内側のレールに合わせ差し込みます。



通話（チャンネルツマミ）

- 1 電源スイッチを右に回します。
- 2 モニターボタンを押しながら音量調整ツマミをまわして聞きやすい音量に調整します。
- 3 チャンネルツマミで相手と同じ通話チャンネルに決めます。
VX-581VCATの通話チャンネルは9チャンネル VX-581UCATは35チャンネル
通話チャンネル以外は『ピロロッ……』とエラー音がなります。
- 4 通話ボタンを押しながらマイクロホンに向かって話します。
インジケータランプが赤色に点灯します。
マイクロホンと口元の間隔は5cm位で普通の声で話します。
- 5 通話ボタンを離すと相手の声を聞くことができます。
- 6 無線機の電源を切るときは電源スイッチを左に回し切ると電源が切れます。
『カチッ』と音がするまで回し切りします。

通話（チャンネルキー）

- 1 MODEを押しながら電源を入れます。SET MODE表示後BEEP ONが点灯します。
- 2 ▼を押します。CH TOP表示（チャンネルツマミでしかチャンネルの変更はできません。）
MODEを押し▲▼で希望する選択方法を設定します。
CH FRNTはチャンネルツマミの操作はできません。
CH BOTHはチャンネルツマミとチャンネルキーの操作でチャンネル変更ができます。
- 3 MODEを押します。（ディスプレイに選択した表示が点灯します。）
一度電源を切り再度電源を入れるとCH TOP・FRNT・BOTHの設定が完了します。
CH FRNT・CH BOTHに選択した場合は▲▼でチャンネルの設定ができます。
チャンネルツマミで設定されても▲▼でセットした方が優先されます。

キーロック

- 1 一度電源をOFFにします。
- 2 通話ボタンを押しながら電源をONします。
- 3 デ스플레이にLOCK ONが表示されるとチャンネルの変更ができません。
ロック中にチャンネルキーを押すと1秒間LOCKが表示されます。
- 4 キーロックを外すときは再度同じ操作をします。

運用方法で不明な点がありましたら

お問い合わせ先 東京通信機 業務部 03-3980-2727